地域とともにある学校づくり

神小だより 第３号

特色ある取組等（神領小学校ＨＰ）

６月中旬、梅雨時期の気温とは思えない程の酷暑、加えて想定外の蒸し暑さにもかかわらず、笑顔で涼しげに、学校近くの潜水橋を渡る子供たち。私にとって「今月のベストショット」です。

家族への愛情と感謝を少し早い「暑中見舞い状」にしたため、投函するために神山の魅力の一つである鮎喰川を眺めながら渡る子供たちの姿に癒やされました。やさしさの原風景をみました。

「原風景」とは、“原点となる風景”のことです。心の奥にしまっておいて、大切なことを思い出す風景でもあります。

神領小のやさしさやあたたかさは、高学年の人が一年生をはじめ低学年の子を大切にする姿にあります。

今年も最高学年である6年生がしっかりと受け継いでいます。

１年生登校時のお世話（４月）

一輪車で繋がる絆（６月）

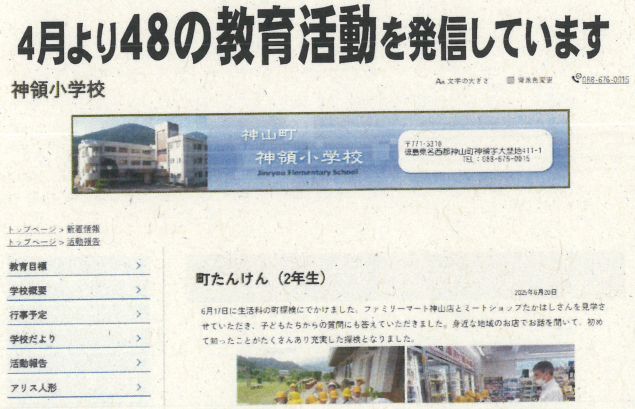
スマイル班清掃スタート（５月）

やさしさいっぱいお接待（２年生）

他にも、様々な教育活動のなかで、いつまでも大切にしたい、子供たちのよい姿がたくさん見られます。

保護者の皆様におかれましても、ご家庭でもこうした姿を心のワンシーンに留めるとともに、その姿のよさについて、「がんばっているね」「その姿輝いているね」と認め励ましていただきますようお願いいたします。そして共に「子供の自尊感情が高められる環境」「子供たちの夢を育てられる環境」をつくっていきましょう。

4月より48の教育活動を発信しています



日頃より、学校HPをたくさん閲覧していただきありがとうございます。

各教科等の学習や行事の様子、「原体験」をタイムリーに発信しています。

「原体験」とは、子供たちにたくさんの成長を促してくれる様々な自然体験から得られる学びです。聴覚、視覚、味覚、臭覚、触覚の五感を使って体験することで、物事を理解する力を高め、自分の考えをもち、「生きる力」の基礎をつくっていきます。各教科の学習はもちろんのこと、これらの体験も、子供の人格形成や行動の方向性に影響があるこの時期（小学校段階）にたくさんの体験をすることで、子供たちが自分や周りの世界を知り、自ら考え行動し、自力解決する力が身に付くとされています。各学年の記事を、家族団らんでの話題にしていただければ幸いです。

（神領小学校ＨＰQR CODE　紙面最上段右　）